

執筆者紹介

カロリナ・ベンディル・パリン (第1章・第3章)

スウェーデン国防研究所 (FOI) 研究副部長として、FOI のロシア研究プログラムを主導する。ロンドン大学経済政治学院で博士号を取得。スウェーデン国際問題研究所上級研究員として、「ロシアと近隣諸国」の研究プログラムを率いた。スウェーデン戦争学会会員。最近の著作に、*Russian Military Reform: A Failed Exercise in Defence Decision Making* (Routledge, 2009)、及び共編書 McDermott, Roger, Nygren, Bertil and Vendil Pallin, Carolina (eds) *The Russian Armed Forces in Transition: Economic, geopolitical and institutional uncertainties* (Routledge, 2012) がある。

兵頭 慎治 (ひょうどう しんじ) (第1章・第2章)

防衛研究所 (NIDS) 地域研究部米欧ロシア研究室長。専門はロシア地域研究 (政治、外交、安全保障)。上智大学 (1992 年) とロシア連邦国立極東大学 (ウラジオストク、1991 年) でロシア語とロシア地域研究を専攻し、上智大学大学院で国際関係論修士号を取得 (1994 年)。1996 ~ 1998 年に在ロシア日本大使館政務担当専門調査員、2001 ~ 2003 年に内閣官房副長官補付内閣参事官補佐、2007 年に英国王立統合国防安全保障問題研究所 (RUSI) 客員研究員を務めた。著書に『多民族連邦国家ロシアの行方』(東洋書店、2003 年) などがある。2003 年以降、防衛研究所の年次報告書『東アジア戦略概観』のロシア章を執筆している。

坂口 賀朗(さかぐち よしあき) (第4章)

防衛研究所(NIDS)政策研究部長。1989年よりロシア軍事研究の専門家として防衛研究所に勤務。また、在ロシア日本大使館政務担当専門調査員を務めたほか、ライデン大学東欧法・ロシア研究所で研究を行った。防衛研究所とロシア連邦軍参謀本部軍事戦略研究センターとの共同研究に参加し、報告書『アジア太平洋地域における安全保障上の諸問題』(防衛研究所国際共同研究シリーズ2、2008年3月)の作成に寄与した。

ヨハン・ノルベリ(第5章)

スウェーデン国防研究所(FOI)上級分析官。ウプサラ大学で経営管理とロシア語の修士号を取得し、サンクトペテルブルク国立経済財政大学で学んだ。FOIでは主にロシア連邦軍の動向を追っているが、スウェーデン軍の国際活動の評価やアフリカの安全保障についても研究を行っている。スウェーデン外務省、スウェーデン国会に勤務した経験があるほか、ボスニア・ヘルツェゴビナ、グルジア、中東の平和維持活動にも従事した。

秋本 茂樹(あきもと しげき) (第6章)

防衛研究所(NIDS)理論研究部社会・経済研究室所員、2等陸佐。専門分野は経済と安全保障(特にエネルギー安全保障)。防衛大学校卒業後、1985年に陸上自衛隊に入隊。1998年から防衛大学校総合安全保障研究科に学び、2000年に修士号(社会科学)を取得。以後、主に防衛研究所で研究に従事している。主な著作に、「エネルギーと安全保障」(共著、『防衛研究所紀要』第7巻第1号)、「EUの安全保障政策——ロシアへの輸入依存問題を視点として——」(『防衛研究所ブリーフィング・メモ』2009年5月)などがある。また、防衛研究所『東アジア戦略概観』2009年版と2011年版の「エネルギー安全保障」と「グローバル金融危機と国際安全保障」に関する章を執筆、2010年以降はロシア章も執筆している。

スサン・オクセンシエルナ (第7章)

ロシアの経済発展を専門として25年にわたり研究活動を行っている。1991年にストックホルム大学経済学博士課程を修了後、ロシア・東欧に対する国際技術支援プロジェクトに携わった。1990年代前半にロシア財務省との二国間プロジェクトの常任顧問、2000年代前半には経済発展貿易省の主要な欧州連合独立国家共同体技術支援(EU-TACIS)プロジェクトのチームリーダーを務めた。ウプサラ大学東欧学部、ストックホルム大学経済学部で講師と卒論アドバイザーとして教鞭をとった。2009年からFOIに勤務し、ロシアの経済、防衛経済、エネルギーに関する研究を行う。多数の著作がある。

山添 博史(やまぞえ ひろし) (第8章)

防衛研究所(NIDS)地域研究部主任研究官。2005年、ロンドン大学スラブ東欧研究所でロシア研究修士号を取得。2005～2006年、モスクワ国立大学歴史学部研究生。2008年、京都大学人間・環境学研究科で「1847～1860年のロシア対中外交」をテーマに博士号を取得。2012年1～10月、英国王立統合国防安全保障問題研究所(RUSI)客員研究員。1858年の中国と欧米列強に対するロシア外交、2000年及び2010年のロシア軍事ドクトリン、ロシアの歴史認識、ロシアの中国との安全保障関係などをテーマにした著作がある。

ヤコブ・ヘデンスコグ (第9章)

スウェーデン国防研究所(FOI)ロシア研究プログラム副研究ディレクター。ウプサラ大学でスラブ語と政治学の修士号を取得。2009～2010年、トロント大学(カナダ)ムンク国際研究所客員研究員。主な専門分野はロシアの外交政策、北コーカサス地方及び旧ソ連諸国(特にウクライナ)の動向である。最近の著作として、*Naval Strategies in the Black Sea Region* (FOI, 2010) などがあるほか、Jakob Hedenskog, Vilhelm Konnander, Bertil Nygren, Ingmar Oldberg and Christer Pursiainen, *Russia as a Great Power: Dimensions on Security under Putin* (Routledge, 2005) の共同編集にあたった。

発行者 防衛省防衛研究所

153-8648 東京都目黒区中目黒 2-2-1

TEL: 03-5721-7005 (内線 6588)

FAX: 03-3713-6149

Email: planning@nids.go.jp

Website: <http://www.nids.go.jp>

ISBN: 978-4-86482-002-8

本書で表明されている見解は、各執筆者個人のものであり、各執筆者の所属機関や政府の見解を代表するものではありません。

Copyright © 2012 The National Institute for Defense Studies

本書の全部または一部について、形態や手段を問わず、複製、情報検索システムによる保管、転送を行う場合には発行者からの書面での許可が必要です。

翻訳協力・印刷：株式会社アーバン・コネクションズ